

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ナイト	Lv.1:	ウォーリア	レベル	10
サポートクラス	グラディエーター	Lv.1:	グラディエーター	性別	女
称号クラス				年齢	23
種族	ヒューリン			境遇	裏切り
出自 (効果)	神官			目標	憧憬

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	24	21	8	8	8	22	9
ボーナス	8	7	2	2	2	7	3
クラス修正	2	2	1	0	0	2	1
他修正							
能力値	10	9	3	2	2	9	4

HP	116
MP	79
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ボーンシールド		0	0	0	18	0	-2	0
左手	シールドソード		-2	11	0	0	2	0	0
頭部									
胴部									
補助	ファインポイントアーマー				-1	5			
装身具	手入れ道具								
能力値			9	0	3	0	9	5	15
スキル			3	18		23	13		
その他									
総計(右)			12	18					
総計(左)			10	29	2	46	24	3	15
総計(両)									m
ダイス数			3 d	3 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	9			9	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
調理用具	
冒険者セット	
HPポーション*2	
バツジ	
MPポーション*2	
スキルの種 (剛剣術)	
EXHPP	
聖水	
スキルの種: 薬学	
スキルの種: サバイバル	

現在重量:	16	所持金:	10	預金・借金:	
最大重量:	24				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
プロビデンス	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果:	作成時にフェイト+1							
バッシュ	1	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
バッシュ	5	4	メジャー					
効果:	武器攻撃のダメージに+「SLD」する							
カバーリング	1	2	DR直前					
効果:	行動済みにならずカバーを行う							
カバームーブ	1	4						
効果:	カバーリングと同時に使用。射程を20mに。シーン1							
テクニカルガード	1		パッシヴ					
効果:	物理防御力+「SL*2」、魔法防御力+「SL」							
アームズマスタリー:長剣	1		パッシヴ					
効果:								
シールドストライク	3		パッシヴ				盾装備	
効果:	武器攻撃の命中に+「SL」、ダメージに+「SL*2」							
プロボック	1	4	セットアップ					
効果:								
シールドスラム	1		パッシヴ				盾装備	
効果:	盾の重量を武器攻撃ダメージに+							
サバイブ	5	3	マイナー					
効果:	物理防御+Lv*3							
アンブレイカブルボディ	1							
効果:								
フットワーク	3							
効果:								
ミュートスノウリッジ	1							
効果:								
トレーニング:筋力	1							
効果:								

黄金の街カルカンドの生まれ。神官の家に生まれたが、他者を守るための力を尊重し、支援するよりも戦士として戦う道を選ぶ。盾を使った戦闘を得意とし、利き手に武器でなく盾を持って戦う。困っている人を救うために冒険者稼業に没頭していたが、ある時を境に唐突に街から去る。

装飾の少ない重鎧に身を包み、盾は装飾の少ない重厚な金属盾を愛用している。背中にかかるぐらいの銀髪を1つ結びにしている。普段は丁寧で穏やかな物腰。面倒見はよく、料理や家事も嗜むため保護者としての適性は高そうだ。実際に妹(ルミナ)がいることから自然と身についたものなのだろう。実際、妹に対してはついつい過剰に世話を焼いてしまうようで、過保護ともいえるくらいである。それも妹可愛さや姉としての責務だと思っているからで、負しだとすら認識してはいない。口調はどんな相手にも基本的に丁寧であるが、敵対者や非道な相手にはあらかじめ敵意というか殺意をむき出しにする。怒ると怖い、というやつだ。

またそういった丁寧な態度は実は過去に裏切られに裏切られたことの影響で、心から人を信用していないがための物でもある。守るための戦い方を曲げる事だけはしていないが、自分にはそれしかできないからだと思っているが故のもの。だからこそ他者がいてこそその戦い方であるのに、できる限り他者に頼らずに自分にできる最大限を尽くそうとする。……神官の家庭に生まれた故に昔は信心深かったが、そんな境遇のせいで現在では神官職に進む気はなくなってしまったようだ。また、家族を捨てるようにして旅を続けているのもその裏切りのせいだ。

旅をつづけながら彼女は憧憬する。自分の全てを安心して任せられるような信頼できる存在……それこそ、長年連れ添った一流の冒険者ギルドのような関係を。そう、今もお彼女は人を信じたいと思っているのだ。あの裏切りの結果、全てが歪んでしまったとしても、もう一度あの時のように戻るといふ希望を捨てきれないがゆえに。

